



Information

季節に応じて様々な体験ができます。

農業体験

田畑・果樹園・菜園作業など、季節に応じた作業を行います。



農村体験

周辺散策や旧跡巡り、山菜採りや竹細工など、農村ならではの体験ができます。



食農体験

地元食材を使った料理や、この地に伝わる郷土料理と一緒に作ります。



◎シーズンによって体験できないメニューがあります。
◎体験には材料費などかかる場合がございます。
詳細についてはお問い合わせ下さい。

大人一名(一泊二食) ¥6,500(中学生以上)
小人一名(一泊二食) ¥5,000(3才~小学生)
(3才以下無料) ※お風呂は町内温泉の利用になります。
就寝具・洗面用具はご持参下さい。

詳しくはホームページを
CHECK!! 安心院町グリーンツーリズム 検索

NPO法人
安心院町グリーンツーリズム研究会

tel.0978-44-1158 fax.0978-44-0353

✉ japan-ajimu-gt@basil.ocn.ne.jp

http://www.ajimu-gt.jp/

A.畑で採れた自慢の玉ねぎの出来栄がその表情から伝わってくる。B.タケノコはこの地ならではの山の幸の一つ。抱えるその顔に笑みがこぼれる。C.年に一回開催されているスローフードフェア。地元食材を使ったオリジナルの料理がずらりと並び。D.山に囲まれたこの地は、ぶどうの他に稲作も盛ん。収穫時には黄金色に染まる。E.囲炉裏を囲んでの夕食。自然と会話が弾み、和やかな雰囲気夜も更けていく。食事後の星空鑑賞で癒しのひとときを。



きます。何度か足を運び、実際に体験することで、農家の方の苦労や収穫時の喜びを実感できます。また自分が携わってできたお米を食べることもでき、その味は普段では味わうことのできない特別なものです。この他にも、宿泊農家によっては、畑で農作物の収穫をしたり、裏山でキノコ狩りや山菜採りの体験もできます。また、多くの方に喜ばれている食農体験では、昔から伝わる郷土料理やおやつ作り、地元食材を使って、一から手作りするこんにやく作りなど、日常では経験することのない体験ができます。

夜は郷土料理に舌鼓。

夜は地元ならではの郷土料理を堪能できます。各家庭で出される料理は様々ですが、主に自家栽培の野菜や採れたての山菜といった地元食材を心ゆくまで味わえます。派手さはありませんが、その純朴な味からは、なぜか懐かしさを感じとれます。一度泊まれば遠い親戚十回泊まれば本当の親戚。一泊でも、十分に触れあうことのできる農村民泊。ここ安心院町グリーンツーリズム研究会では、訪れる人を本当の親戚のように迎えてくれます。昨今、人付き合いの希薄さがうたわれています。この町では出会う人の表情や仕草から、温もりやあたたかさを感じとれます。何度も帰って来なくなる本当の理由は、そこにあるのかもしれません。

【TOPICS】農家に泊まる

人の温もりが溢れるまちで「心のふるさと」を見つけた。



写真上:地元食材を使った料理に舌鼓を打つ。囲炉裏の赤く燃える炎が心を和ませてくれた。写真右:こんにやくは芋をすりおろし、煮詰めて、一から手作りで作り上げる。



あなたの「心のふるさと」はどこですか？

誰もが思い描く心のふるさとといえば、山裾に田園が広がり小川の流れるのどかな風景、人との触れあいから温もりを感じ、疲れた心を癒してくれるものだと思います。今回は、宇佐市安心院町で農村民泊を行なう安心院町グリーンツーリズム研究会で心のふるさとを体験してきました。

農村民泊発祥の地「安心院」。

大分県北部にある人口約七千人の小さな町「安心院」。昼夜の温度差が大きく、良質なぶどうの生産地としても有名で、このぶどうから造られる爽やかなのどごしの安心院ワインは多くの方に愛飲されています。ここ安心院町では、十五年前から農村民泊を行なっています。一言でいえば「農村で休暇を過ごすこと」で、自然に触れ、散策を楽しんだり、のんびりと過ごすしたり、身も心もリフレッシュさせることを目的としています。また宿泊農家では「農業体験」をすることもでき、農業の大変さや素晴らしい実感ができると、多くの方が何度も足を運んでいます。

田植え、稲刈り、山菜採りや魚釣りも。各家庭、色々な農業体験でお出迎え。

農業体験と聞いてまず思いつくのは、お米作りでしょうか。ここでは春の田植え、秋の稲刈りといった稲作を体験することがで



朝霧の町としても知られる安心院盆地。その景観は作家・司馬遼太郎が日本一と絶賛したほど。